

一般社団法人強いリーダー育成研究会 設立記念シンポジウム

□基調講演 講師

□講師名	宮田 秀明 (みやた ひであき)
□現職	東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 教授
□専門分野 or 職務経歴	コンピューターサイエンス(CFD)、船舶システム開発、流体力学、経営システム工学など 二次電池社会システム研究会代表理事
□略歴	<p>松山出身。1948年生まれ。1972年東京大学工学系大学院修士課程終了。石川島播磨重工業㈱を経て東京大学に勤務。1978年工学博士。大学院工学系研究科システム創成学専攻を担当する。1994年より同教授。</p> <p>コンピューターサイエンス(CFD)、船舶システム開発、流体力学、技術マネジメント、経営システム工学、サービス科学、社会システム工学等を専門としている。いくつかの民間技術開発プロジェクトを主導し、ニッポンチャレンジ・アメリカズカップのテクニカル・ディレクターも努めた。システム創成学科の設立、東大MOTなど教育改革にも携わる。</p> <p>World Innovation Foundation フェロー。</p>
□社会的活動	<p>受賞、表彰歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西造船協会賞(1982.2) ・日本造船学会賞(1982.5) ・JBIA マリン技術賞選考委員長特別賞(2000.5) ・24th Weinblum Memorial Lecture(2001.11) ・日本学士院賞、恩賜賞(2011.6) ・World Innovation Foundation フェロー(2002.2) <p>—World Innovation Foundation フェローとは</p> <p>1992年に科学者、技術者、エコノミストなどによって設立された国際的非政府組織。初代代表は、米国の化学者・物理学者であるグレン・シーボーグ氏(故人)。2008年12月現在、英国に拠点を置き、現代代表のジェローム・カール氏など 87 名のノーベル賞受賞者、および 2800 名の名誉会員が参画する。人口増加、気候変動、エネルギー問題、貧困、水資源、環境問題など多方面に渡って、研究・議論を展開し、多くの国家や企業に対してアドバイスを行っている。</p>
□執筆	<p>著書に「シリーズ数値流体力学」(協編共著、東京大学出版会)、「アメリカズ・カップ」(岩波書店、岩波科学ライブラリー)、「アメリカズカップのテクノロジー」(東大出版会)、「プロジェクトマネジメントで克つ」(日経BP社)、「理系の経営学」(日経BP社)、「仕事のやり方間違えています」(祥伝社)などがある。</p>

□特別講演1 講師

□講師名	花田 光世(はなだ みつよ)
□現職	慶應義塾大学 総合政策学部 教授／キャリアリソースラボラトリ 所長
□専門分野 or 職務経歴	人的資源開発論・国際経営論 特に国際人事システム論, 新人事組織設計論を中心テーマとして研究
□略歴	1971年慶應義塾大学文学部心理学科卒業。1974年南カリフォルニア大学教育心理学修士、同大学社会学部助手。1978年南カリフォルニア大学大学院にてPh.D-Distinction取得。産業能率大学経営情報学部助教授就任。1986年産能大学教授就任。1990年慶應義塾大学総合政策学部教授、現在に至る。
□社会的活動	「高度情報化社会実現に向けての社会人再教育」通産省支援プロジェクト アウトソーシング協議会会長、マイクロビジネス協議会主査会座長
□執筆	人事制度における競争原理の実態(1987年度組織学会最優秀論文賞受賞)「組織科学」。個性主義に根ざした人事制度の展開「一橋大学ビジネスレビュー」(1989年)。グローバル戦略を支える人事システムの展開法(上・下)ダイヤモンドハーバードビジネス(1988年)。コア人材の機能と条件 ダイヤモンドハーバードビジネス(1995年)。CALS 産業革命(1995年)。「グローバル経営の組織」(総合法令)、「キャリア自律の新展開」(一橋ビジネスレビュー、共著)他多数。 「Cultural Effects on Organizational Structure」American Sociological Review, 「Organizational Structures in the U. S. and Japanese Manufacturing Firms」 Administrative Science Quarterly. 他。

□特別講演2 講師

□講師名	冨永 章(とみなが あきら)
□現職	PMラボラトリー代表、三菱総研上席理事、法政大学客員教授(イノベーションマネジメント研究科)
□専門分野 or 職務経歴	プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、ITサービス、情報システム、組込IT
□略歴	1971年日本IBM入社。SEとして活動し、91年SI推進本部長、93年ソリューション統括本部長、95年取締役、98年常務取締役兼IBM—VPアジア太平洋サービスコンピテンシー担当(～05年)、02年専務取締役技術担当。日本へのPM導入に貢献し01年プロジェクトマネジメント学会長。05年経済産業大臣表彰(情報化促進貢献個人)。06年東京大学特任教授(工学系研究科)兼日本IBM技術顧問。09年全常勤を辞しPMラボラトリーを開設、PM発展めざし活動中。世界に誇れる強いリーダー育成を目的に、東京大学、法政大学、東京工業大学の各大学院でPM講義を継続中
□社会的活動	産構審専門委員(92)等公的委員、IT業界各種委員を歴任、プロジェクトマネジメント学会長(01)、PM国際会議議長(02シンガポール)、日本CTOフォーラム代表世話人(04～05)。05年経済産業大臣表彰—情報化促進貢献個人、06年プロジェクトマネジメント学会賞、PM国際標準化ISO-PC236委員(07～現在)、IEEEコンピュータソサエティ、情報処理学会、PMI、同日本支部、PM学会などに所属
□執筆	「パーソナルプロジェクトマネジメント」(2011、日経BP社)、「解説: EVM—アーンドバリュー・マネジメント」(2003、PM学会)、「プロジェクトマネジメント大全」(2002共著、日経BP)、「私のいち押しプロジェクト」(2011共著、評言社)、「すぐわかるプロジェクトマネジメン」(2010共著、日本規格協会)など。他にIT分野、PM分野、ITサービス、個人PM分野の論文・執筆多数